

1 題材名 「持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方 ～よりよい買物のしかたを考えよう～」

2 題材設定の理由

(1) 題材観

本題材は、「C消費生活・環境」の(1)「物や金銭の使い方と買物」のA及びイと(2)「環境に配慮した生活」のA及びイとの関連を図っている。「持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方 ～よりよい買物のしかたを考えよう～」という課題を設定し、「健康・快適・安全」や「持続可能な社会の構築」の視点から、身近な物の選び方及び買い方などの買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さや計画的な使い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理に関する知識を身に付けるとともに、環境に配慮した生活について考え、身近な生活の課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することをねらいとしている。

(2) 児童観

商店等が少ない地域のため、家族の買物を見る機会はあるものの、児童一人で買物をする機会はほとんどなく、買物の仕方や仕組みを体験的に学ぶ機会が少ない実態がある。自分のお金で買物をすると言った児童は36.4%、文房具など、自分が使うものを大切に扱っていると答えた児童は63.6%であった。また買物をするときに注目するポイントは、「値段の安さ」95.4%、「デザイン・キャラクター」86.3%、「環境への影響」13.6%（複数回答）であり、値段が安いものや、お気に入りのデザイン・キャラクターで買うものを選ぶ児童は多く、環境への影響を考えて買物をする児童は少ない。このことから、身近な物を選ぶ際に必要な情報の収集・整理に関する知識が十分ではなく、環境に配慮した生活に向けて課題解決する意欲や、生活をよりよくしようと工夫する態度が十分に身に付いていない状況が伺える。

(3) 指導観

家族の一員として、物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について自分ごととして考えを深め、生活をよりよくしようと工夫する態度を育むために、本題材のゴールを、「ぼくの・わたしの消費者宣言！」を提案することとし、問題解決的に学習を進めていくこととする。児童が主体的に学習に臨めるようにするために、買物でのトラブルや後悔したことなどを事前に保護者にインタビューするなど家庭との連携を図りながら学習をすすめる、具体的に自分たちの生活場面を想起できるようにした。また、学んだことが身近な生活の課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度とどうつながるのかの視点で学習を振り返り、次の時間への見通しをもたせるようにした。本時では、売買契約が成立する場面を具体的に考えさせるため、より実生活に近い買物場面を提示し、指導者の実演を通して、買物の仕組みや、「よりよい買物」をするために必要な「買物名人ポイント」（買物をする際に大切な視点）について考えさせる。グループで話し合ったことを発表させ、他のグループの意見から新たな視点にも気付かせ、考えを深められるようにした。

3 題材の目標

○身近な物の選び方及び買い方などの買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと環境に配慮した

生活について理解するとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。

(知識及び技能)

○物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

○家族の一員として、生活をよりよくしていこうと、物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 身近な物の選び方及び買い方などの買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと環境に配慮した生活について理解している。 - 購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしていこうと、物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

5 題材の指導計画（6時間）

題材	時間	ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よりよく買物をするために	1	【家庭等との連携】 ①子供だった頃の買物の思い出、②最近はどうのように日常必需品を購入しているのか、③最近の買物で気を付けていることについて、身近な人にインタビューする。			
		生活の課題発見 ○自分たちの生活を振り返り、物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について、気づきを共有し、課題を設定することができる。 - 自分たちの生活を振り返り、物やお金と密接に関わりながら生活していることに気付く。 30年前（保護者が子供の頃）と今の生活を比べながら、身近なものの選び方や買い方などの買物の仕組みや消費者としての役割で変わってきていること、変わらないことにはどのようなことがあるのかについて話し合う。 - これからの生活を踏まえ、自らの買物の仕方で考慮すべき視点等について考える必要があることに気付く。 「ぼくの、私の消費者宣言！」をしよう。		物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定している。 ワークシート	物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活の課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 行動観察

買物の仕組みについて考えよう	2 本時	解決方法の検討と計画 ○身近な物の選び方や買い方などの買物の仕組みについて理解することができる。 ・身近な物について、保護者や身近な人は最近はどうのように日常必需品を購入しているのか、最近の買物で気を付けていることについてインタビューしてきたことを共有する。 ・買物の場面を見ながら、いつ売買契約が成立するのかについて考える。 ・約束と契約の違いについて知る。	身近な物の選び方及び買い方などの買物の仕組みについて理解している。 ・ワークシート		
	【家庭等との連携】 ①これまでに買物で失敗したこと、トラブルになったことについて、②環境に配慮していること、家庭で実践している具体的な取組について、身近な人にインタビューする。				
	3	課題解決に向けた実践活動 ○身近な物の選び方や買い方について、買物における失敗やトラブルの対処方法を考えることができる。 ・身近な人へのインタビューや自分の経験を振り返り、失敗やトラブルのあった経験について出し合う。 ・買物における失敗やトラブルについて、グループで解決方法や対策について考え、共有する。		物や金銭の使い方や買物の工夫について様々な解決方法を考えている。 ・ワークシート ・行動観察	物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について、振り返り、改善しようとしている。 ・行動観察
よりよい買物の仕方について考えよう	4	○身近な物の選び方について購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・前時の解決方法や対策を踏まえ、ニット（衣類）、下敷き（文房具）、アボガド（食品）について、よりよく買物をするために必要な情報は何か、どのようにして収集するとよいか考える。 ・環境に配慮していること、家庭で実践している具体的な取組、企業で行われている取組について共有する。 ・これから買物に行こうとしている友達や家族等に「買物名人ポイント（買物をする際に大切な視点）」としてまとめる内容を考える。	物や金銭の大切さと計画的な使い方、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・ワークシート		
	5	○消費者の役割、物や金銭の大切さと環境に配慮した生活について理解することができる。 ・前時で考えたことをグループで話し合い、まとめる。 ・話し合った内容を全体で共有し、新たな視点があれば追加するなどして「買物名人ポイント（買物をする際に大切な視点）」を個人で完成させ、全体で発表し共有する。	消費者の役割、環境に配慮した生活について理解している。 ・ワークシート	物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について考えたことを表現するなどしている。 ・ワークシート	

		【家庭等との連携】		物や金銭の使い方と買物や、環境に配慮した生活について生活を工夫し、実践しようとしている。 ・ワークシート ・行動観察
		家庭・地域での実践 「買物名人ポイント（買物をする際に大切な視点）」を家族等で共有し、実際の買物で生かす。		
ぼくの・私の消費者宣言	6	実践活動の評価・改善 ○家族の一員として生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物や環境に配慮した生活について振り返り、改善・工夫しようとしている。 ・実際の買物で「買物名人ポイント（買物をする際に大切な視点）」を生かした取組を踏まえて、買物で気を付けたいことや工夫したいことをまとめる。その際、消費者にはどのような役割があるのかについても話し合い、まとめる。 ・これまでの学習を踏まえて「ぼくの・わたしの消費者宣言！」を考える。 ・自らの意見をグループ及び全体で発表、交流し、意見を伝え合う。		物や金銭の使い方や買物の工夫、環境に配慮した生活について考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・ワークシート ・行動観察

6 本時の学習（2／6時間）

（1）本時の目標

身近な物の選び方や買い方などの買物の仕組みについて理解する。

（2）観点別評価規準

○身近な物の選び方や買い方などの買物の仕組みについて、買物の中のどの場面で契約が成立するのか理解している。（知識・技能）

（3）本時の展開

時間	主な学習活動と 予想される児童の主な反応	○指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への 指導の手立て	◇評価規準（方法）
5	1 前時を振り返り、保護者や身近な人は、最近はどうのように日常必需品を購入しているのか、最近の買物で気を付けていることについてインタビューしてきたことを共有する。 2 買物で気を付けていることの意見の中から、最も気を付けるべきところはどこかを考える。	○学習計画をもとに題材のゴールを確かめ、本時の学習の見通しをもたせる。	
20	発問：「友達との約束と買物をする時の店員さんとのやりとりとの違いはなんだろう？」		
	3 契約と約束の違いについて考える。 4 本時の学習のめあてを確認する。	○約束と売買契約に違いがあることに気付かせ、本時のめあてにつなげる。	

	本時のめあて：「ぼくの、わたしの消費者宣言！」にむけて 買物の中のどの場面で契約が成立するのか考えよう。		
	発問：「売買契約が成立するのはいつだろう？」		
	5 日常行っている買物が売買契約であることを確認する。 約束…2人以上の間で取り決めること。 売買契約…買う人（消費者）の申し出と売人の承諾によって成立する。（商品を受け取った後は、基本的に買った人の一方的な理由で商品を返却することができない）。 6 2種類の買物の場面を見て、いつ売買契約が成立するのかを考える。 ①店で本を買う場面 ②電話でピザを注文する場面 7 個人で考えたことを共有する。	○各場面での購入を指導者が演じる。 ◆それぞれの共通点を考えさせ、理解につなげる。	身近な物の選び方や買い方などの買物仕組みについて、買物のどの場面で契約が成立するのか理解している。 （知識・技能） ・ワークシート
	想定される児童の意見 ・お金を払ったところかな。 ・商品をもらったところだと思うよ。 ・どれも商品を決めて「これください。」ってところで成立しているよ。		
10	8 2種類の買物の場면을比較して売買契約が成立するタイミングの共通点を考える。 売買契約は、買う人（消費者）の申し出と売人の承諾時に成立する。 9 理解したことをもとに、他の場面における契約成立について考える。 ①店でお菓子を購入する場面 →レジに置き、スキャンしたとき。 ②店で本を図書カードにより購入する場面 →「これをください。」「はい。」と言ったとき。 ③インターネットショッピングの場面 →購入確認ボタンのクリック後、承認メールを受信したとき。 ④電車・バスに乗る場面 →乗り物に乗車したとき。 ⑤美容院で髪を切る場面	○児童が考えた共通点を基にまとめる。 ○「申し出」、「承諾」の言葉は指導者が示す。 ○対話的な学びの視点として仲間と共有し、考えを出し合うことで知識の概念化を図る。 ○本時の学習を活かして五つの場面について考えさせる（知識の概念化）。 ○個人→グループ→全体で意見を交流した後、答えを伝える。 ◆疑問に思ったことなどがあれば、グループで相談する	

	→双方が切り方を確認したとき。	ことを伝えておく。	
	想定される児童の意見 ・本もお菓子も契約が成立するところ是一緒だね。 ・支払方法が変わっても売買契約が成立するところは同じなんじゃないかな。 ・インターネットはキャンセルできるから、商品が届いてからじゃないかな。		
10	10 インターネット等で解答を調べる。	○電子黒板を用いて調べ方及び解答を共有する。 （電子的方法を用いて契約する場合は申込みに対する承諾の通知が到達した時点が契約の成立時期となることを確認する。	
10	11 本時の学習を振り返り、身近な物の選び方や買い方などの買物の仕組みについて振り返る。	○「分かったこと・ぎもん」 「自分の生活と関わって」を明確にした振り返りをさせる。	
	【振り返りの例】 ・約束と売買契約は全然違うものだった。 ・買物をするとき、お金を払ったら売買契約が成立することになると思ったけど、「これください。」「はい。」で成立することが分かった。これからはよく考えてレジに持っていこうと思う。 ・インターネットで買物をするとき、商品が送られるまでは契約が成立していないと思っていたので、クリックしてメールが来たら契約が成立していることに驚いた。キャンセルをするときは契約がどうなるのか知りたい。 ・買物で失敗やトラブルになったことがある人に、どのようなことがあったのかたずねたら、契約の時の失敗もありそうだ。		
	12 次時への見通しをもつ。		
	これまでに買物で失敗したこと、トラブルになったことがあることについて、また家庭で実践している環境に配慮した具体的な取組について知り、身近な物の選び方や買い方、環境に配慮した生活について考えよう。		
	13 身近な人にインタビューをしてくることを確認する。（①これまでに買物で失敗したこと、トラブルになったことについて、②環境に配慮していること、家庭で実践している具体的な取組について）		